

平成31年度
事業報告

社会福祉法人千曲市社会福祉協議会

平成31年度千曲市社会福祉協議会事業報告

1 平成31年度重点目標の取組みについて

(1) 地域福祉活動計画の着実な実施（第二次地域福祉活動計画の推進）

市の地域福祉計画をもとに地域福祉推進の方向性を示すため、「地域に根差した支え合いの風土づくり」「安心して暮らせる地域をみんなで作るための支援」「誰もが自立した生活を営むことが出来る地域をつくる」の3つの目標を掲げ活動しています。

市民が直面している様々な生活課題・福祉課題を解決するため、市民・団体・組織等と連携し計画実施に取り組みました。

(2) 総合相談・生活支援・権利擁護体制の強化

相談事業の強化のため相談支援課を設置しました。心配ごと相談、司法書士による法律相談、さらには権利擁護を目的とした成年後見利用相談などその内容も多様化しさらに、生活困窮者相談、生活費の貸付の相談、結婚相談についても継続的な支援が必要な状況です。

課においては、専門の相談員や社会福祉士を配置し、市民の生活ニーズに寄り添い、多様な機関と連携しながら確かな生活の実現のために各種相談の解決に努めました。

(3) 社協支部との連携・協働による市民支え合い活動の推進

市内に11の支部を設置し、地域の身近なところでの福祉活動に取り組んでいます。少子高齢化が進行するなか、様々な福祉課題を抱えています。このような課題を真摯に受け止めながら各支部では、地域に実情に沿った活動を進めました。

ひとり暮らし高齢者の昼食会、障がい者希望の旅、子ども向け福祉体験教室、親子レク等を開催しました。また、令和元年東日本台風（台風第19号）による被災者への見舞金支給等の支部活動や生活課題を解決するための地域支え合い事業「つなぐ」も、支部と協働で活動しました。

(4) ボランティア・市民活動交流センター機能の充実強化

令和元年東日本台風の影響により千曲市では甚大な被害を受けました。それに伴い「千曲市災害ボランティアセンター」を立ち上げ、市内外からのボランティアの受け入れを行うとともに、被災された方々のお宅へボランティアの派遣も行いました。また、千曲市ボランティア・市民活動交流センターでは、ボランティア活動、福祉団体、NPO法人や高齢者・子育てサロン等に対し、活動紹介等の支援を行いました。また、若者世代がボランティア活動をするきっかけづくりを目的とし「サマーチャレンジボランティア」を企画し、多くの方の参加がありました。

(5) 社協基盤の強化と安定した法人運営の推進（第二次経営戦略計画の推進）

当協議会が安定的かつ継続的に運営を継続し、地域福祉事業を推進していくため、第二次経営戦略計画で掲げた3つの基本目標である「介護保険事業所の強化」「地域のニーズに基づいた先駆的な取組み」「収支のバランスを整え財政及び組織強化」を着実に進め、経営基盤の強化を図りました。

介護保険事業においては、令和元年東日本台風の影響で更埴デイサービスセンターが被災し、事業継続が困難となりましたが、他の事業所への利用者の分散利用や、新規利用者の確保、継続的なコンサルタントや運営アドバイザーからの助言を受けながら経営改善に取り組み、収支改善が図られました。また、社協運営補助金の補助基準の見直しや受託事業の人件費等見直しについて千曲市と協議しました。

2 会務の運営

会務の運営は理事会及び評議員会に諮りながら推進し、監事による監査及び助言により適正に執行しました。

(1) 理事会の開催

回	開催日	出席者数	主要議案
第1回	6月7日	9人	平成30年度事業報告の承認について 平成30年度資金収支決算の承認について 監査報告 第1回評議員会の招集について 評議員候補者の推薦について
第2回	6月24日	10人	会長、副会長及び常務理事の選任について 【報告事項】 評議員の選任について 会費の納入について 社協会長及び常務理事の職務の執行状況について
第3回	11月29日	9人	定款細則の一部改正について 地域福祉振興基金設置規程の取り扱いについて 【報告事項】 社協会長及び常務理事の職務の執行状況について 平成31年度上半期事業報告について 平成31年度上半期資金収支状況について 監事による中間監査報告
第4回	12月9日	7人	評議員選任候補者の推薦について 第2回評議員会の招集について 会員規程の一部改正について 【報告事項】 社協会長及び常務理事の職務の執行状況について 台風19号による災害ボランティアセンターの設置と活動状況について 台風19号による更埴デイサービスセンターの被害状況について
第5回	3月19日	9人	令和2年度事業計画(案)について 令和2年資金収支予算(案)について 定款の一部改正について 組織規程の一部改正について 処務規程の一部改正について 平成31年度第3回評議員会の招集及び議題について 【報告事項】 社協会長及び常務理事の職務の執行状況について 評議員の選任報告について

(2) 評議員会の開催

回	開催日	出席者数	主要議案
第1回	6月24日	18人	平成30年度事業報告の承認について 平成30年度資金収支決算の承認について 理事及び監事の選任について
第2回	12月24日	18人	理事の選任について 地域福祉振興基金設置規程の取り扱いについて 会員規程の一部改正について 【報告事項】 台風19号による災害ボランティアセンターの設置と活動状況について 台風19号による更埴デイサービスセンターの被害状況について 定款細則の一部改正について 社協事業紹介DVDの紹介
第3回	書面決議 ※3月27日開催予定を新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議とした。	19人	令和2年度事業計画の承認について 令和2年度資金収支予算の承認について 定款の一部改正について

(3) 評議員選任・解任委員会の開催

評議員選任のため開催しました。

回	開催日	委員	主要議案
第1回	6月11日	丸山正人(外部) 高松久男(監事) 唐澤正弘(事務局員)	次期評議員候補者推薦書による選任について
第2回	12月19日	丸山正人(外部) 高松久男(監事) 唐澤正弘(事務局員)	評議員候補者推薦書による選任について ※代表者交代による新たな選任

(4) 外部監査の開催

決算監査に向けて外部税理士による監査を実施し、平成30年度財産目録、貸借対照表及び収支計算書等を精査・助言を受けました。

区分	開催日	税理士	監査対象
決算監査	5月25日	成澤会計事務所 成澤税理士	平成30年度財産目録 貸借対照表及び収支計算書

(5) 監査会の開催

平成30年度事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書等を監査の結果、いずれも処理は適正、かつ誤りがないことが認められました。

また、平成31年度上半期の事業報告及び予算執行状況の監査の結果、順調に事業が執行されていることが認められました。

区分	開催日	監事	監査対象
決算 監査	5月30日	高松久男 赤沼義敏	平成30年度決算監査 事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書
中間 監査	11月21日	高松久男 赤沼義敏	平成31年度上半期中間監査 平成31年度上半期事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書

(6) 正副会長会

当協議会運営の適正かつ効果的な執行を図るため、会長、副会長、事務局長及び課長との打ち合わせ会議を開催し、社協運営の基本方針・重要施策及び経営に関する事項等について協議しました。

回	開催日	主たる協議事項
第1回	5月28日	平成30年度事業報告並びに資金収支決算について 令和元年度第1回理事会・評議員会他について 平成30年度長野県共同募金会千曲市支会委員会について
第2回	10月18日	台風19号による社協事業所の被災状況について 災害ボランティアセンターの活動状況について 社協財政に係る市への要望について 第8回千曲市社会福祉大会について 台風19号による社協被災職員の特別休暇の取扱いについて 今後の日程について（中間監査、支部長会、理事会等）
第3回	11月15日	今後の介護保険事業所と法人の方向性について 令和2年度新規採用職員の第1次試験結果について 中間監査、支部長会、理事会、評議員会の開催について
第4回	11月19日	中間監査について 第4回支部長会について
第5回	3月11日	第5回理事会について 第3回評議員会について 退職者辞令交付式について 令和2年度辞令交付式について

(7) 課長会議

社協の基本方針・重要施策等の適正かつ効果的な執行を図るため、事務局長及び課長、事業所長等で構成する課長会議開催し、当面の課題について協議し、情報の共有に努めました。

回	開催日	主たる協議事項
第1回	4月17日	平成31年度事業計画・資金収支予算について コンプライアンス（法令遵守）について 時間外勤務、ノー残業デイについて 苦情対応について、ハラスメントについて 年次有給休暇の取扱いについて 労働災害発生時の連絡、職員の応急活動マニュアルについて 労働災害・事故件数の増加に伴う注意喚起について 衛生管理者資格の取得について 法人加入の保険内容について
第2回	7月11日	平成30年度事業報告並びに資金収支決算について 職員による重大事故（交通事故）の発生について 年次有給休暇の取得管理について ハラスメント研修会について、健康診断の日程について 社会福祉大会の開催と表彰者の推薦について 社協会費への協力について 衛生委員会による事業所訪問について
第3回	12月26日	平成31年度上半期事業報告、資金収支状況について 令和2年度予算編成方針について 災害ボランティアセンターの活動状況について
第4回	3月3日	令和2年度組織体制について 新型コロナウイルスに関する感染症対策について 今後の日程について（理事会、評議員会、退職辞令交付式等） 新年度に向けた事務手続き等について 令和2年度人事異動内示について

(8) 視察研修受入れ

視察研修の受入れはありませんでした。

(9) 各種団体による共催及び後援依頼

当協議会の取り扱い要綱の基準により後援の決定をしました。

区分	依頼件数	決定件数	内 訳
共催	0件	0件	
後援	9件	9件	児童福祉施設大会、福祉イベント、婚活イベント、障がい者スポーツ大会、福祉体験イベント、一輪車レース、チャリティー映画会、戦没者追悼式、児童イベント

(10) 広報・情報の提供(社協会費、共同募金配分金事業)

市民の皆さまに社協事業等の情報を提供するため広報誌「社協だより」を偶数月に発行し全戸配布しました。また、適時に社協 HP やフェイスブックでイベントやお知らせ等社協事業を紹介しました。

(11) 第8回千曲市社会福祉大会(共同募金配分金事業)

市内福祉関係者が集い地域福祉の発展に寄与された者に感謝するとともに、さらなる地域福祉の発展をめざして講演会を開催しました。

開催日	場所	主な内容
11月9日	戸倉創造館 大ホール	参加者：320人(関係者含) 被表彰者：17人 講演：株式会社菓匠 Shimizu 代表取締役シェフパティシエ 清水 慎一氏 「これからの時代の夢の見つけ方 叶え方」 ～何のために働くのか～

3 社協会費納入事業

社協会費納入状況

相談事業や移送自動車貸出事業等の地域福祉推進事業、支部社協事業、ボランティア・市民活動交流事業、法人運営等を実施する大切な財源となる会費を市民、法人に協力をお願いしました。

会費は、区長はじめ社協支部役員等による働きかけにより、普通会費も81%を超える世帯から、昨年度並みに協力を得られました。

法人会費について、廃業や経営状況の悪化などの理由により減少傾向にあります。また賛助会費についても、地域の役員、民生児童委員、社協職員が主な会員ですが減少傾向にあります。

会費実績表

年度 項目	31	30	29
普通会費	17,997 世帯 16,197,900 円	17,964 世帯 16,169,700 円	18,028 世帯 16,244,000 円
	加入率 81.3%	加入率 81.8%	加入率 82.3%
法人会費	620 社 1,651,500 円	631 社 1,690,500 円	636 社 1,703,000 円
賛助会費	514 人 536,000 円	557 人 578,000 円	574 人 590,000 円
特別会費	14 人 160,000 円	14 人 150,000 円	16 人 180,000 円
会費実績合計額	18,545,400 円	18,588,200 円	18,717,000 円

4 苦情解決システム

利用者やその家族、市民等から寄せられた苦情・意見等はその都度、担当課長や各事業所長が真摯に対応することにより解決を図っており、第三者の苦情解決委員に苦情（意見・要望）を解決していただく案件はありませんでした。8月28日にサービス向上員会で平成30年度に受け付けた苦情内容及び対応等について検証し、再発防止に向けた対応を協議しました。

苦情の主な内容は、職員の接遇（態度）に関するものは「要望に対し、最初から無理というような態度と言動で不快な思いをした。」、提供しているサービスに関するものについては「尿取りパッドの当て方が悪く、尿漏れした」、事故・被害・損害に関するものは「介護用品に不具合があった」が寄せられました。

苦情解決委員（第三者委員）は福祉サービスや児童館・児童センター・介護保険事業所等の利用者が、サービスの内容や職員の対応に対する言いにくい苦情・意見・要望等を直接受付けるほか、意見を聞き、相談に応じるなど公平・中立な立場で、市民の皆様と事業所の橋渡しとなる活動を行います。

9月10日に第三者委員会を開催し、平成30年度に受け付けた苦情内容及び対応等について第三者委員からアドバイスを受けました。

苦情・意見等受付件数 (件)

年度	31	30	29
苦情・意見等の内容			
① 職員の接遇（態度）に関するもの	4	2	11
② 提供しているサービスに関するもの	2	14	3
③ 事故・被害・損害に関するもの	1	3	0
④ 事業所運営等に関するもの	0	0	2
⑤ 社協会費に関するもの	2	0	2
⑥ 要望・意見	5	3	7
⑦ その他	1	0	2
合 計	15	22	27

5 人事・労務管理

(1) 職員数

年度 区分	職員数の推移				構 成 比		
	31	30	29	増減	31	30	29
正規職員	35人	36人	37人	△1人	21.1%	21.3%	21.8%
非正規職員*	131人	133人	133人	△2人	78.9%	78.7%	78.2%
合 計	166人	169人	170人	△3人	100%	100%	100%

* 嘱託職員・臨時職員・パート職員等

(2) 離職率

年度 区分	31		30		29	
	退職者数	離職率	退職者数	離職率	退職者数	離職率
正規職員	1人	0.6%	1人	0.6%	2人	1.2%
非正規職員	18人	10.8%	13人	7.7%	22人	12.9%
合計	19人	11.4%	14人	8.3%	24人	14.1%

*退職者数には定年退職者は含まない。

参考：全産業の平均離職率 14.6%（医療・福祉は、15.5% 平成30年雇用動向調査：厚労省）

(3) 職員研修

働きやすい職場を構築するためハラスメント対策研修会、いざという時に備AED講習会、介護保険事業所向けのリスクマネジメント研修会を開催しました。

このほか、長野県社会福祉協議会、長野県福祉人材研修センターや全国社会福祉協議会、労働基準監督署などが実施する社外研修に、随時、職員が参加し、職員の育成と能力開発を図りました。

法人主催研修会内容

対象	研修内容	開催日	出席者数
新規採用職員	新規採用職員研修 総務課、各課長 「社会福祉協議会、社協事業について」 「各種手続き、事務連絡等」	4月1日	8人
各事業所1名以上	AED講習会 千曲坂城消防本部職員 「普通救命講習Ⅱ」	6月27日	31人
管理者	ハラスメント研修 オフィス・キャリアサポート 代表 古越 真佐子 氏 「職場のハラスメント対策～管理監督者の役割～」	8月26日	28人
各事業所1名以上	ハラスメント研修 オフィス・キャリアサポート 代表 古越 真佐子 氏 「職場のハラスメント対策～基本は職場のコミュニケーション力～」	9月2日	26人
各事業所1名以上	ビジネスマナー研修 一般財団法人長野経済研究所 主任インストラクター吉池 知子 氏	10月8日	25人
過去5年以内に2回以上車両事故を起こした者 (対象者がいない場合は事業所1名以上)	交通安全研修会 あいおいニッセイ同和損保株式会社 長野支店トレーニングセンター統括 千葉 晃久 氏	10月16日	19人

6 千曲市民交流広場運営事業

千曲市ふれあい福祉センター管理運営状況

(人)

年度	101 会議室	長寿館	201 会議室	202 会議室	調理実 習室	301 会議室	相談室	ボランテ ィアセン ター	合計
31	1,638	5,271			345	1,915	265	722	10,156
30	1,573	5,159	2,208	1,026	978	1,706	106	548	13,304

ボランティア団体、子育て団体、高齢者団体、障がい者団体など幅広く利用されています。しかし、今年度から戸倉庁舎内に拠点を置いていた千曲坂城障害者（児）基幹相談支援センターが201会議室に拠点を移し、それに伴い202会議室を相談室としたため、201会議室、202会議室の貸館を中止しました。そのため、利用人数が減少しました。

7 受託事業

千曲市からの委託を受け、各種社会福祉事業の推進を図りました。

(1) 八幡老人福祉センター利用状況

集会室や相談室の利用頻度は少ないものの、定期的に趣味や短歌のグループ等が利用しました。8月31日をもって指定管理の協定期間を満了しました。

年度	31		30		29	
	利用人数	貸与回数	利用人数	貸与回数	利用人数	貸与回数
合計	1,250人	102回	2,735人	245回	2,012人	264回

(2) 老人コミュニティセンター利用状況

戸倉地区の児童館と併設の老人コミュニティセンターは、高齢者の趣味のサークルや身体障がい者団体、子育てサークル等が主に利用されています。利用人数・貸与回数については、五加老人コミュニティセンターでは増加傾向、更級老人コミュニティセンターでは、減少傾向です。

年度	31		30		29	
	利用人数	貸与回数	利用人数	貸与回数	利用人数	貸与回数
戸倉老人コミ	1,169人	163回	991人	118回	1,003人	131回
更級老人コミ	326人	14回	474人	18回	658人	52回
五加老人コミ	539人	76回	484人	51回	451人	57回
合計	2,034人	253回	1,949人	187回	2,112人	240回

(3) 地域活動支援センター千曲市ピュアハートちくま

センターは、利用する障がい者が、地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう創作活動又は生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進その他の支援を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的としています。

ア 支援方法

- ①利用者が安心して過ごせる日中の交流の場を提供し、心身の回復を図る。
- ②家族、ボランティア等の支援協力を得ながら、社会との交流を促進する。
- ③地域住民との交流を図る機会をつくり、障害理解への促進と啓発を行う。
- ④利用者の心身の状態を把握し、本人のニーズに合わせた支援を行う。

イ 利用者の状況

利用者 52人 3/31現在の内訳：登録者34人（チューリップ併用8人含）
試験通所者18人

①利用状況

年 度	31	30	29
利用状況			
開所日数	240日	245日	244日
登録者数（試験通所者を含む）	52人	42人	32人
延べ利用者数	1,640人	1,342	1,166
平均利用者数	6.8人	5.5人	4.8人
見学者数	16人	16人	9人
相談件数	59件	133件	126件

②地域別内訳 (人)

更埴	戸倉	上山田	合計
25	9	18	52

③男女内訳 (人)

男性	女性	合計
29	23	52

④年齢別内訳 (人)

年齢	利用者	男性	女性
10代	0	0	0
20代	6	3	3
30代	10	7	3
40代	18	9	9
50代	10	5	5
60代	7	5	2
70代	1	1	0
合計	52	30	22

⑤障がい別内訳*重複有 (人)

障がい種別	人数
精神障がい者	48
知的障がい者	4
身体障がい者	0
不明(受診なし)	0
合計	52

【利用者の通所状況】

前年比、登録者数は10人増になり、1日平均の利用者も5.5人から6.8人増となりました。再利用となった方、試験通所をする方が多くなりました。

「日中の居場所」「自分らしく、ゆとりある時間を気兼ねなく過ごせる居場所」「自立した生活を目指し、目標を持ってステップアップしたい自分」など利用者のニーズに合わせた環境作りを心掛け、支援を行いました。

(4) 戸倉上山田地域包括支援センター（高齢者相談センター）

保健師（看護師）、主任介護支援専門員、社会福祉士が連携し、戸倉・上山田地区の高齢者相談に努めました。また、要支援認定者の介護予防マネジメント業務を実施し、よりの確な福祉サービス利用支援に努めました。

相談受付延べ件数

①方法(手段) (件)

年度 内訳	31	30	29
電 話	4,097	3,998	3,383
来 所	334	271	175
訪 問	1,174	1,220	1,003
F A X	6	7	3
メール	42	24	1
その他	15	87	79
計	5,668	5,607	4,644

②相談者内訳 (件)

年度 内訳	31	30	29
家 族	1,424	1,244	1,213
本 人	1,644	1,811	1,491
関係機関	2,447	2,202	1,858
協力員	113	130	54
その他	43	220	28
計	5,668	5,607	4,644

相談内容延数（重複あり）

(件)

年度 内訳	31	年度 内訳	31
介護問題	76	介護保険	1,465
医療・疾病	1,309	地域支援	55
介護機器	418	居宅介護支援	93
家族関係	430	権利擁護	135
生活住宅	2,538	虐待防止	9
経済問題	237	予防プラン	1,723
在宅サービス	63	認知症	117
保健サービス	0	その他	98
施設入所	239	計	9,005

介護予防支援計画（プラン）作成者数 (人)

項目	年度	31	30	29
	事業対象者		526	498
要支援1		1,203	1,088	1,006
要支援2		1,352	1,213	1,186
計		3,081	2,799	2,502

- 相談内容別件数では「生活住宅」、「予防プラン」、「介護保険」、「医療・疾病」の順となりました。
- 介護予防支援計画作成者数は、前年度より 282 件増加しました。
- 「事業対象者」については、要支援認定外の者で通所介護、訪問介護を利用している者。

(5) 更埴地区老人大学・老人クラブ運営事業

老人大学は、各種活動を通じて高齢者としての教養を深め、お互いの仲間づくり人間性豊かな生きがいのある生活を送るため、開校しています。入学生は前年度から 18 名増の 111 名でした。このうち新入生は半数程度であり、複数年にわたる聴講生が相当数存在すること、学生のうち男性の占める割合が少ないことが近年の傾向です。

老人クラブは、高齢化社会に進んでいるにもかかわらず加入者の減少が続いています。新規会員増加が課題です。

①更埴地区老人大学

年度	31		30		29	
	学生数	講座回数	学生数	講座回数	学生数	講座回数
合計	111 人	15 回	93 人	15 回	95 人	15 回

②老人クラブ

年度	31		30		29	
	単老数	会員数	単老数	会員数	単老数	会員数
合計	47 区	3,017 人	47 区	3,058 人	50 区	3,299 人

(6) 家族介護者交流事業

在宅介護者の交流や心身のリフレッシュを図るため社協 11 支部で実施しました。

(7) 生活困窮者自立相談支援事業（まいさぼ千曲）

千曲市より委託を受け、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的として、生活困窮者からの多様な複合的な課題についての相談に応じ、情報提供、助言、計画の作成、認定就労訓練事業の斡旋の支援を実施しました。

- ・相談支援件数 5,974 件
- ・新規相談者数 173 人

新規相談者の年齢別内訳 (人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	年齢不明
男	2	14	8	13	22	21	7
女	4	8	14	18	11	28	3
計	6	22	22	31	33	49	10

- ・ 支援計画作成件数 65件
- ・ 就職件数 29件
- ・ 生活保護申請 8件
- ・ 資金貸付 12件
- ・ 住宅確保給付金 10件
- ・ 家計改善支援 31件

(8) 成年後見制度普及啓発等推進事業

判断能力が十分でない認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、その権利を擁護するため成年後見制度の利用推進と、制度の普及啓発の推進を図りました。

① 相談件数

- ・ 新規47件 ・ 延相談件数937件

② 対象者別

- ・ 認知症高齢者543件 ・ 知的障がい者94件 ・ 精神障がい者232件
- ・ その他（意識障がい等）68件

③ 相談内容

- ・ 制度説明243件 ・ 申立手続き支援387件 ・ 後見候補調整130件
- ・ 状況調査833件 ・ 財産管理の相談17件 ・ 申立て費用の説明46件
- ・ 制度の必要性の相談、その他354件

④ 後見人等審判 3件

⑤ 福祉サービス利用援助事業運営委員会（委員8人 3回開催）

- ・ 第1回7月4日 ・ 第2回10月31日 ・ 第3回3月19日
- 委員8人（敬称略）

山崎 典久	木島 政広
高澤 尚能	宮入 典子
芝田 久美子	安藤 正幸
北村 章	斉藤 正樹

⑥ 成年後見研修会：6月25日市民講座「認知症になった波平～事例で分かる成年後見制度～」参加者＝125人（関係者含む）

8 地域福祉推進事業

(1) 連絡会議等の開催・参加

①社協支部長会の開催

支部活動の活性化に向け、地域福祉の現状や福祉課題等について社協 11 支部長による会議を開催しました。

開催日	主な内容
5月10日	支部長会正副会長の選任、社協理事の選任について
6月10日	会費の納入、社協支部での地域課題について
9月6日	共同募金運動の実施、支部福祉活動について
11月27日	台風19号被災者見舞金支給、社協会費について
1月31日	事業評価、共同募金配分金、家族介護者交流事業実績について

②第68回長野県社会福祉大会

毎年県内の福祉関係者が集い、先駆者への表彰を行うとともに、地域福祉の推進についてそれぞれの立場から考える貴重な機会となる本大会に参加しました。

開催日	場所	主な内容
9月20日	駒ヶ根市 駒ヶ根市文化 会館	参加者：17人（理事、支部長、被表彰者） 被表彰者：1人（永年勤続者表彰社協職員）欠席

(2) 地域福祉事業

①ふれあい訪問事業（共同募金配分金事業）

75歳以上の一人暮らし高齢者、80歳以上の高齢者のみ世帯、障がい者のみ世帯等のお宅を訪問する活動を通じて、ふれあいの機会づくりと安否確認を行うことを目的に年6回（奇数月）実施しました。

対象者数内訳 (人)

種類	(人)		
	食事券	品物	合計
地区			
更埴	3,039	2,937	5,976
戸倉	862	1,386	2,248
上山田	1,167	307	1,474
合計	5,068	4,630	9,698

・配布協力：各地区の民生児童委員とボランティア

(3) 生活支援、相談事業

①心配ごと・法律・窓口相談

	相談員	開所回数	場 所	件数	主たる相談内容
心配ごと	6人	月1回	本会・各公民館	10件	日常生活・家庭家族・その他
法律	司法書士 会派遣	月2回	本会	76件	遺言・相続等
窓口	—	随 時	本会	57件	人間関係・生活費・家族トラブル

②心配ごと相談・委員会の開催及び研修会

開催日	場所	主な内容
4月16日	千曲市ふれあい福祉センター	事業計画、研修会「引きこもり支援の現状と相談対応について」講師：市保健師
3月17日	千曲市ふれあい福祉センター	今年度の反省 内容：「相談員研修会」講師：塚原委員長

③結婚相談所(会費事業)

真剣に結婚を考える独身男女を対象に、相談員によるアドバイスや出会いのイベント等を開催し、成婚に向けたサポートを実施し、5組成婚しました。

- ・相談日の開所回数：毎月2回、年24回（相談員10人が2人体制で交代で実施）
- ・相談会場：更埴文化会館、戸倉創造館
- ・相談対応時間：午前9時～正午
- ・結婚相談員10人（敬称略）
- ・市内結婚相談員連絡会議 11回（内2回坂城町合同）

・イベントの開催

期 日	内 容	参加者等
6月29日	婚活力アップ講座 講師：モテ期プロデューサー 荒野 広治 氏 上田 REI ホテル	独身者 30 人 相談員等 41 人
9月 8日	出会いのイベント 戸倉 坂井銘醸	男性 25 人、女性 19 人 カップル 9 組
12月14日	クリスマスパーティー 長野市 メトロポリタン長野	男性 25 人、女性 21 人 カップル 9 組

・相談活動状況(千曲市結婚相談所内)

区 分	男 性	女 性	合 計
新規登録者数	7 人	9 人	16 人
登録者数	51 人	27 人	78 人
平均年齢	41.2 歳	37.3 歳	39.3 歳
相談数	133 人	81 人	214 人
説明・申請書渡し	22 人	14 人	36 人
紹介希望者数	90 人	77 人	167 人

・紹介、見合い数(坂城町の結婚相談所登録者含む)

区 分	人 数
紹介数	167 人
見合い数	39 組

- ・成婚数 5 組

④ 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が十分でない者を支援するため、11人の生活支援員により、生活費の払い出しや福祉サービスの相談への支援を行いました。

・契約状況内訳 (人)

対象区分 契約・解約状況	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
契約者数	16	17	6	39
新規契約者数	0	1	0	1
解約者数	12	4	1	17

・相談援助件数 (件)

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
1,363	865	283	2,511

⑤ 金銭管理・財産保全サービス（会費事業）

判断能力はあるが、身体的等の理由により預金の払戻しや財産管理が適切に処理できない身体障がい者、高齢者等を対象として通帳等を管理しました。

・対象者 (人)

対象区分 契約・解約状況	高齢者	身体障がい者	その他	合計
契約者数	0	3	0	3
新規契約者数	1	0	0	1
解約者数	1	2	1	4

・相談援助件数 (件)

高齢者	身体障がい者	その他	合計
7	85	55	147

⑥ 法人後見事業

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等意思決定が困難な人の判断能力を補うため、社協（法人）が成年後見人等になることにより成年被後見人等の財産管理等を行い、その権利を擁護して自立した日常生活を維持できるよう支援をしました。

・受任件数7人（後見類型6人、保佐類型1人） (人)

後見	保佐	補助	合計
6	1	0	7

高齢者	障がい者	合計
3	4	7

男性	女性	合計
5	2	7

・相談支援件数 305 件

財産管理	通帳管理、払戻し、不動産確認・調査、元帳等作成
身上監護	サービス利用確認、手帳更新、高額療養費等手続き、見守り

⑦善意銀行(地域福祉振興基金益金)

市民の善意に基づく物品や金品をお預かりし、必要に応じて生活困窮者、団体等へ提供しました。

【災害援護事業】

- ・住宅火災見舞 2 件、生活困窮者現金給付 0 件
- ・預託物品 市民より物品の預託を受け生活困窮世帯へ配分しました。
主な物品・・・米、改良ねまき、介護用品、フードドライブ等
配分先・・・生活困窮者、障がい者施設、在宅介護者等

⑧寄付金・寄付物品

- ・寄付金 9 人 計 250,072 円 (地域福祉振興基金)

⑨生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯の生活支援のため資金の貸し出しを行いました。

・貸付内容

種類	件数・金額	件数	貸付金額
	緊急小口資金	6 件	500,000 円
	福祉資金	6 件	1,233,000 円
	教育支援資金	3 件	1,487,000 円
	総合支援資金	3 件	2,015,000 円
	合計	18 件	5,235,000 円

⑩助けあい資金貸付事業(原資：社協助けあい資金基金、生活福祉資金の補完的事業)

市内に居住する生活困窮者に対し応急援護のために 1 人 3 万円以内で貸し付けました。

・貸付内容

種類	件数・金額	件数	金額
	貸付金	20 件	467,300 円
	償還金	83 件	477,550 円

⑪資金貸付相談件数(社協の窓口、電話での相談受付件数)

- ・763 件

(4) 福祉団体への活動支援

社協 11 支部については福祉活動事業の企画や協力、また、千曲市身体障害者福祉協会、千曲市遺族会については事務的支援や事業の調整を行いました。

(5) 実習生の受け入れ

人材育成への協力として、福祉系大学等からの要請に応じ、社会福祉士資格の取得のための実習生を受け入れました。

- ・社会福祉士 相談援助実習
- ・大学養成校からの受け入れ 2人 180時間(8月、2月)

9 ボランティア・市民活動交流センター運営事業（会費事業）

（1）ボランティア・市民活動交流センター運営

ボランティア活動の活性化や育成、各種団体との連携や調整を行い、誰もが等しく暮らしやすい地域の実現に向け各種事業に取り組みました。

①運営委員会の開催・・・開催数 2 回

開催日	場所	主な内容
7 月 26 日	千曲市ふれあい福祉センター	平成 31 年度事業計画について 福祉活動事業助成金について
2 月 27 日	〃	平成 31 年度事業報告について 令和 2 年度事業計画について

②機材の管理・貸出

プロジェクター、スクリーン、DVD再生機、点字器、サロン用品他

③ボランティア登録者

男性 1, 4 8 4 人 女性 3, 4 4 3 人 計 4, 9 2 7 人 1 3 1 団体、個人

④ボランティア保険加入数 (人)

保険の種類		加入者数
活動保険	活動 A・B プラン・天災 A プラン	5, 752
行事用保険	行事 A・C プラン	6, 318
総合補償	福祉サービス総合補償 A/B/C プラン・	31, 028

⑤センター利用者延数 7 6 7 人

⑥相談連絡調整延数 9 7 7 人

（2）交流、活動の促進

①第 1 0 回千曲市ふれあい広場

・日時：8 月 2 5 日（日） 会場の都合により中止

②長野ブロックボランティア交流事業

・豪雨災害により中止

（3）情報提供

- ・全戸配布：社協だより（年 6 回）、ボランティア情報誌かけはしちくま（年 2 回）
- ・その他：支部情報誌、社協ホームページ、フェイスブック、屋代有線等

（4）ボランティア養成講座等

ボランティア活動を実施するための機会として講座を開設しました。また、福祉教育の一環として子どもから高齢者まで、生涯にわたり人がひとを支えるという活動の目的達成に向け各種活動を実施しました。

① 福祉施設ボランティア体験（サマーチャレンジボランティア IN ちくま）

・ 7 月末～8 月 参加者 1 6 6 人

② いきいきサロンリーダー研修（内容「やってみよう！スポレクプログラム」ボッチャ）

・ 6 月 2 8 日 戸倉創造館 参加者 4 3 人

- ③ 千曲市総合防災訓練参加（災害ボランティアセンター設置訓練）
 - ・ 9月8日 五加小学校
- ④ 千曲市災害ボランティアセンター講習会
 - ・ 12月4日 戸倉創造館 参加者 101人
- ⑤ 傾聴ボランティア養成講座 11月30日～12月20日まで 参加者25人

(5) 福祉教育の推進

市内17校の福祉担当者が、学校での福祉教育活動の実践の紹介や情報交換を行い、福祉教育と学校教育との連携と協力について協議しました。

- ① 福祉教育担当者連絡会議 5月23日 千曲市ふれあい福祉センター

(6) 地域支え合い事業 “つなぐ”

ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障がい者のみ世帯への日常生活での困りごとに支援をする地域支え合い事業 “つなぐ” を実施しました。その際の対価として地域通貨券「ちくま券」（20分200円の対価）を発行しています。

つなぐ事業会員数

つなぐ会員		助っ人会員		協力店舗数
利用者	135人	支援者	125人	109店舗

(7) 災害ボランティアセンターの設置と活動状況について

10月12日の台風19号により、千曲市内でも甚大な水害に見舞われました。

14日の千曲市災害対策会議において、本部長（市長）より「災害ボランティアセンター設置」の指示を受け、当日の午後に旧更埴保健センター1階において開設準備。

15日（火）午前9時にセンターの運営を開始し、11月8日に閉鎖しました。

ボラ受付（活動者）			ニーズ（依頼者）
市内	市外	県外	千曲市内被災者
661人	437人	103人	545世帯
合計	1,201人		

10 特定相談支援事業（社協相談支援事業所）

障がい者の自立した生活を支えるため、抱える課題の相談や解決を図り、また、適切な福祉サービスの利用に向けた計画を作成しました。

（1）相談支援実績

①契約者18人

・相談支援の利用者延人数（基本相談者数と計画相談者数の合計）（人）

障がい者				合計
精神	身体	知的	発達	
514	14	26	25	579

②相談支援方法別延件数（件）

支援方法	電話	来所	訪問	合計
相談件数	378	32	169	579

③相談内容内訳件数（件）

相談支援内容	件数
福祉サービスの利用に関する支援	540
障がいや病状の理解に関する支援	1
健康・医療に関する支援	11
不安の解消や情緒安定に関する支援	12
保育・教育に関する支援	0
家族関係や人間関係に関する支援	1
家計・経済に関する支援	1
生活技術に関する支援	0
就労に関する支援	11
社会参加、余暇活動に関する支援	2
合計	579

（2）関係機関との連携

- ・千曲・坂城地域自立支援協議会
運営委員会、部会（相談支援部会、子ども部会）毎月実施
- ・全体会（総会、研修会）年2回実施

11 赤い羽根共同募金配分金事業

(1) 福祉活動団体活動助成(共同募金配分金事業)

赤い羽根共同募金運動による募金の配分金により、福祉団体やボランティア団体、また、学校等への福祉活動に対し、それぞれの活動の要請に応じ助成金を配分しました。

・配分実績

種類	件数・金額	主な配分先団体	件数	配分金額
老人福祉活動		老人クラブ	1 件	100,000 円
障害児・者福祉活動		千曲市身体障害者福祉協会、千曲市聴覚障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、ちくま手話サークル等	9 件	383,000 円
児童・青少年福祉活動		市内 9 小学校、5 中学校、2 高校、9 児童館・児童センター	15 件	640,000 円
育成・援護・組織化活動		えんぴつの会、園芸福祉ボランティア、傾聴ボランティア、認知症の人と家族の会等	35 件	1,464,000 円
母子・父子福祉活動		ひとり親あんず会	1 件	70,000 円
		合計	61 件	2,657,000 円

(2) ふれあい活動助成(いきいきサロン、子育てサロンへの助成)

・配分実績

種類	件数・金額	主な配分先団体	件数	配分金額
育成・援護・組織化活動		いきいきサロン、子育てサロン	93 件	1,690,200 円

・サロン登録 99 団体(高齢者関係 84 団体、子育て支援関係 15 団体)

(3) 災害援護金の支給(台風 19 号による被災世帯への支給)

長野県共同募金会災害援護金を千曲市災害義援金、社協支部災害見舞金と一緒に罹災証明書が交付された被害区分が「半壊」・「一部損壊」の世帯に支給しました。

・配分実績

種類	件数・金額	金額	件数	配分金額
災害援護金		5,000 円/世帯	458 件	2,290,000 円

12 児童館・児童センター管理運営

市内9ヶ所の児童館・児童センターについて千曲市から5年間の指定管理（H28年度～R2年度）を受け「児童に健全な遊びを与え、健康を増進し、情操を豊かにする」ことを目的に多くの行事、催し物を企画・実施しました。

（1）児童館・児童センター利用状況

就労支援の放課後児童健全育成事業である児童クラブ（登録）は、共働き家庭の増加により、近年増加傾向にあります。しかし、平成31年度の登録児童の延べ利用数は昨年度と比べ212人減少しました。これは新型コロナウイルスの感染拡大防止のため3月2日から小学校が臨時休校となり、児童クラブは医療従事者等の生活に必要な仕事に従事している保護者のために受け入れを継続しましたが、感染拡大防止の趣旨に鑑み可能な範囲で利用自粛を依頼したことにより、その間の利用児童数が50～70%程度減少したためです。一時的に利用できる児童の延べ利用数も前年度から1,173人減少、一般利用児童は、前年度から753人減少しましたが、これも同様の理由によるものです。

児童クラブ及び一般利用状況

(人)

児童館名	児童クラブ（登録）		児童クラブ（一時）		一般利用	
	延べ利用児童数	1日平均利用人数 (土日祝除く)	延べ利用児童数	1日平均利用人数	延べ利用児童数	1日平均利用人数
埴生児童センター	19,439	67.3	934	3.2	5	0.0
稲荷山児童センター	13,202	45.7	695	2.4	4	0.0
屋代児童センター	13,881	48.0	1,056	3.7	12	0.0
八幡児童センター	10,863	37.0	1,260	4.4	7	0.0
東部児童センター	12,238	42.3	1,094	3.8	3	0.0
戸倉児童館	7,714	26.7	714	2.5	19	0.1
更級児童館	4,428	15.3	674	2.3	68	0.2
五加児童館	12,717	44.0	1,078	4.0	97	0.3
上山田児童館					2,216	6.8
合計	94,482		7,582		2,431	

（2）子育て支援利用状況

子育て支援として、主に未就園の乳幼児と保護者を対象に午前中の開館や行事等を実施しました延べ利用保護者・乳幼児数は昨年度より618人増加しました。地域のボランティアの方々と協働で事業を実施するとともに子育て支援事業を地域回覧で周知等広報に力を入れた成果です。

利用状況

(人)

児童館名	子育て支援利用者数	延べ利用保護者・乳幼児数	1日平均利用人数
埴生児童センター		235	1.3
稲荷山児童センター		145	0.8
屋代児童センター		180	1.0
八幡児童センター		92	0.5
東部児童センター		155	0.8
戸倉児童館		65	0.3
更級児童館		239	1.3
五加児童館		246	1.3
上山田児童館		1,292	4.0
合 計		2,649	

13 介護保険事業

千曲市社会福祉協議会では、居宅介護支援事業をはじめ訪問介護、通所介護、訪問入浴事業及び地域密着型である認知症対応型通所介護、短期入所事業を運営しています。

経営の安定を図るため、新規利用者の獲得、新たな加算の取得、営業活動等に努めましたが、介護保険収入は、大きく伸びず各介護保険事業所の運営は大変厳しい状況となりました。また、令和元年東日本台風（台風第 19 号）による被災に伴い更埴デイサービスセンターが休止となり、ご利用者等にご迷惑とご不便をお掛けしたうえ、水害により廃車した送迎車等が数台あり経営的にも大きな痛手となりました。

また、介護予防・日常生活支援総合事業により軽度の利用者は増加したものの報酬単価が低いことから経営は厳しい状況となっています。

他の民間事業所が介護保険事業に多数参入している現在、デイサービスセンターなどの介護保険事業を運営する意義を明確にし、社協でなければできない活動に積極的に取り組み、地域とのつながりを更に強化していきたいと思えます。

■介護保険指定事業所一覧

	事業所名	種別	所在地
1	社協 居宅介護支援事業所	居宅支援	千曲市大字杭瀬下 13 番地 1
2	戸倉上山田居宅介護支援事業所	居宅支援	千曲市大字磯部 1110 番地 1
3	社協ヘルパーステーション	訪問介護	千曲市大字杭瀬下 13 番地 1
4	更埴デイサービスセンター	通所介護	千曲市大字杭瀬下 870 番地
5	稲荷山デイサービスセンター	通所介護	千曲市大字稲荷山 2130 番地
6	戸上デイサービスセンター	通所介護	千曲市大字磯部 1110 番地 1
7	戸上デイサービス（認知対応型）	通所介護	千曲市大字磯部 1110 番地 1
8	戸倉短期入所事業所	短期入所	千曲市大字磯部 1110 番地 1
9	戸上訪問入浴ステーション	訪問入浴	千曲市大字磯部 1110 番地 1

■介護保険収入推移

(単位：千円)

年 度	31	30	29
介護保険収入	321, 290	320, 250	315, 741

(1) 居宅介護支援事業

介護サービスを受ける際に必要となる支援計画（ケアプラン）並びに介護予防支援計画の作成を行いました。介護全般に関する相談をはじめ、利用者等の要望に沿ったサービスを提案し、必要な機関や介護サービス事業者との連絡・調整を行いました。

■支援計画（ケアプラン）作成件数（事業所別）

(件)

区 分	31	30	29
社協居宅	1, 8 5 8	1, 8 2 6	1, 6 8 1
戸倉上山田居宅	1, 4 6 9	1, 2 4 2	1, 3 2 2
計	3, 3 2 7	3, 0 6 8	3, 0 0 3

①社協居宅介護支援事業所

- ・開設日数：244日（年末年始、祝日を除く、月～金曜日）
- ・平均作成件数：154件／月（前年度152件）
- ・ケアマネジャー一人あたり件数／月：25.8件（前年度30.4件）

■支援計画（ケアプラン）作成件数（介護度別） (件)

区 分	31	30	29
事業対象者	21	12	12
第1号予防、要支援	227	170	139
要介護(1～5)	1,610	1,644	1,482
申請中	—	—	48
合 計	1,858	1,826	1,681

②戸倉上山田居宅介護支援事業所

- ・開設日数：244日（年末年始、祝日を除く、月～金曜日）
- ・平均作成件数：122件／月（前年度103件）
- ・ケアマネジャー一人あたり件数／月：30.6件（前年度22.8件）

■支援計画（ケアプラン）作成件数（介護度別） (件)

区 分	31	30	29
事業対象者	9	6	0
第1号予防、要支援	151	77	103
要介護(1～5)	1,309	1,159	1,208
申請中	—	—	11
合 計	1,469	1,242	1,322

《評価と課題》

- 介護予防事業において新たな区分となった「事業対象者」「第1号予防（支援1・2）」など軽度認定者は増加し、要介護3～5の介護度の高い利用者の作成件数は微増でした。
- 社協居宅介護支援事業所では、ケアマネジャーを増員しましたが、支援計画作成件数は、微増、ケアマネジャー一人あたり件数／月は減少しました。
- 今後、さらにサービス提供事業者と密に情報交換を行い、利用者拡大に努めるとともに、介護支援専門員として資質の向上を図り、ケアマネジメント業務充実に努めます。

(2) 訪問介護事業

介護が必要な高齢者に対し、自立した日常生活が送れるよう入浴や排せつ介助等の身体介護や炊事や洗濯、清掃等の生活援助など、身体の状態に応じたサービスを提供しました。

①社協ヘルパーステーション

- ・開設日数：366日
- ・1日平均利用回数：29.9回（前年度30.7回）
- ・平均介護度：2.5（前年度2.2）

■実利用者数（介護度別） (人)

区 分	31	30	29
要支援（事業対象者等含む）	2 5 8	2 4 1	2 6 3
要介護（1～5）	5 0 3	4 5 8	4 7 8
申請中	0	0	1 6
合 計	7 6 1	6 9 9	7 5 7

■サービス別延べ利用回数 (回)

区 分	31	30	29
介護予防（H29から生活支援総合事業含む）	1, 2 2 7	1, 2 5 1	1, 2 2 9
身体介護	8, 8 2 6	8, 7 6 0	7, 5 1 0
身体生活	1 0 8	1 1 2	1 5 2
生活援助	7 9 6	1, 0 9 7	2, 6 4 7
合 計	1 0, 9 5 7	1 1, 2 2 0	1 1, 5 3 8

《評価と課題》

- 介護度が高い中重度利用者が増えたため、身体介護の訪問回数が微増しましたが、生活援助の利用回数が大きく減少し、介護報酬収入は減収となりました。
- サービスを提供する時間帯が朝・昼・夕食の時間帯に集中しており、人手不足のため、ご利用者ニーズに応えられない場合があります。思うように人材が採用できませんが、今後も新規訪問依頼等に対応できるようパートヘルパーの確保を図ります。

(3) 障がい者訪問介護事業（自立支援事業）

ヘルパーが障がいのある方のお宅へ訪問し、家事の援助や身体介護サービス、外出時の支援を行いました。

■延べ利用人数

区 分	31	30	29
延べ利用人数	1 8 7人	2 2 4人	2 3 9人
延べ利用回数	1, 0 5 7回	5 9 9回	1, 4 4 9回

■サービス内容別延べ利用回数 (回)

区 分	31	30	29
身体介助	9 7	1 2 6	4 1 9
同行援護	2 0 3	1 0 7	2 7 1
通院介助	5	0	0
家事援助	7 5 7	3 6 6	7 5 9
計	1, 0 6 2	5 9 9	1, 4 4 9

《評価と課題》

- 家事援助の利用回数が大きく増えました。今後も新規受入れPRを積極的に行い、利用者の増加を図ります。

(4) 通所介護事業

虚弱な高齢者、寝たきりの高齢者に対し食事、入浴、機能訓練などのサービスを提供し、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上を図るとともに、家族の身体的、精神的な負担軽減に心がけ、事業を展開しました。

■実利用者数及び延べ利用人数推移（事業所別） (人)

事業所名	31		30		29	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
更 埴	451	4,090	766	6,860	735	6,812
稲荷山	625	5,900	516	4,767	582	5,352
戸 上	1,271	10,006	1,187	8,910	1,154	8,123
# (認知対応型)	235	2,236	240	1,866	236	1,811
合計	2,582	22,232	2,709	22,403	2,707	22,098

①更埴デイサービスセンター（定員 30 人／日）

- ・開設日数：169日（年末年始を除く、月～土曜日）
- ・1日平均利用者数：24.2人（前年度22.2人）
- ・稼働率：80.6%（前年度74.2%）
- ・平均介護度：2.2（前年度2.2） 中重度割合34%（前年度36%）

■実利用者数及び延べ利用人数推移（介護度別） (人)

区分	31		30		29	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
要支援(要介護程度含む)	86	540	137	825	145	975
要介護	365	3,550	629	6,035	581	5,784
申請中	0	0	0	0	9	53
合計	451	4,090	766	6,860	735	6,812

②稲荷山デイサービスセンター（定員 30 人／日）

- ・開設日数：310日（年末年始を除く、月～土曜日）
- ・1日平均利用者数：19.0人（前年度15.4人）
- ・稼働率：63.3%（前年度51.5%）
- ・平均介護度：2.2（前年度2.2） 中重度割合37%（前年度35%）

■実利用者数及び延べ利用人数推移（介護度別） (人)

区分	31		30		29	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
要支援(要介護程度含む)	136	887	97	709	98	732
要介護	489	5,013	419	4,058	467	4,523
申請中	0	0	0	0	17	97
合計	625	5,900	516	4,767	582	5,352

③戸上デイサービスセンター（定員 40 人／日）

- ・開設日数：310日（年末年始を除く、月～土曜日）
- ・1日平均利用者数：32.2人（前年度28.9人）
- ・稼働率：80.5%（前年度72.3%）

- ・平均介護度：1.8（前年度1.9） 中重度割合19%（前年度26%）

■実利用者数及び延べ利用人数推移（介護度別） (人)

区分	31		30		29	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
要支援（要介護者等含む）	315	1,742	318	1,749	353	1,958
要介護	956	8,264	869	7,161	800	6,160
申請中	0	0	0	0	1	5
合計	1,271	10,006	1,187	8,910	1,154	8,123

④戸上デイサービスセンター認知対応型（定員9人/日） 【地域密着型事業所】

- ・開設日数：310日（年末年始を除く、月～土曜日）
- ・1日平均利用者数：7.2人（前年度6.0人）
- ・稼働率：80.0%（前年度67.2%）
- ・平均介護度：2.2（前年度2.3） 中重度割合31%（前年度38%）

■実利用者数及び延べ利用人数推移（介護度別） (人)

区分	31		30		29	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
要支援（要介護者等含む）	0	0	0	0	4	23
要介護	235	2,236	240	1,866	230	1,786
申請中	0	0	0	0	2	2
合計	235	2,236	240	1,866	236	1,811

《評価と課題》

- 令和元年東日本台風（台風第19号）による被災に伴い更埴デイサービスセンターが10月12日以降当面の間、休止となりました。その間、利用者の意向を確認しながら稲荷山デイ及び戸上デイに利用者を受入れ、サービスの提供を行ってきました。
- 稼働率80%以上を達成できた事業所は、更埴デイサービス及び戸上デイサービス、戸上デイ認知対応型の3カ所で、延べ利用人数が増え介護保険収入が増収しました。
- 身体機能維持向上のための体操や利用者が個別に選択して行えるプログラムとして調理、手芸、工作、脳トレ、筋トレ等を行い、職員や利用者同士が一緒に行うことで交流を図ることができました。また、手芸や工作では材料費として数百円いただき、少し高価なものを工夫して作ることで家族等からも喜ばれ、やりがいも増え生活意欲を高められるよう支援できました。今後も、利用者が自立した日常生活を営むことができるよう生活機能の維持・向上を目指し、必要な機能訓練や生活援助を行っていきます。
- 今後も、地域に必要とされる事業所、市民から選ばれるデイサービスになるために居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等関係機関に情報紙等でPRを行っていきます。

(5) 短期入所事業

虚弱な高齢者、寝たきりの高齢者等を対象に短期間、施設に宿泊し食事や入浴、機能訓練等、日常生活に必要なサービスを提供するとともに家族の身体的・精神的な負担軽減を心がけ事業を展開しました。

①戸倉短期入所事業所（定員6人/日） 【地域密着型事業所】

- ・開設日数：366日
- ・1日平均利用者数：5.6人（前年度5.8人）
- ・稼働率：93.3%（前年度96.6%）
- ・平均介護度：2.5（前年度2.3） 中重度割合41%（前年度41%）

■実利用者数及び延べ利用人数推移（介護度別） (人)

区分	31		30		29	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
要支援	16	59	24	88	5	15
要介護	275	2,000	300	2,031	320	2,090
申請中	0	0	0	0	1	3
合計	291	2,059	324	2,119	326	2,108

《評価と課題》

- 市内には、長期入所系施設が多くある中、毎年稼働率90%以上と安定していますが、前年度より利用者が減少傾向です。今後も利用者のニーズに沿いながらサービスの提供に努めます。

(6) 訪問入浴事業

自宅の浴槽で入浴が困難な方に対し、看護師、介護福祉士等により専用の入浴車で自宅へ訪問し、戸倉地域福祉センターの温泉を利用した入浴介助を行いました。

①戸上訪問入浴ステーション

- ・開設日数：257日（年末年始を除く、月～金曜日）
- ・1日平均利用者数：5.6人（前年度6.2人）
- ・平均介護度：3.9（前年度3.9）

■実利用者数及び延べ利用人数推移（介護度別） (人)

区分	31		30		29	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
要支援	6	22	0	0	0	0
要介護	282	1,441	292	1,611	291	1,432
申請中	0	0	0	0	4	24
合計	288	1,463	292	1,611	295	1,456

《評価と課題》

- 介護度が高い利用者が多いため、入院・施設入所等で不安定な利用状況ですが、居宅介護支援事業所等を訪問して、空き情報等の情報提供をするなど連携を深め、新規利用者の獲得や利用回数の増加につなげるよう努めます。

(7) 身体障がい者訪問入浴サービス事業（受託事業）

家庭において入浴が困難な身体障がい者に対して移動入浴車での訪問入浴サービスを提供しました。

■延べ利用人数

(人)

区 分	31	30	29
利用実人数	3 9	3 6	4 6
延べ利用人数	1 5 8	1 7 0	2 1 6

《評価と課題》

- 新規受入れPRを積極的に行い、利用者の増加を図ります。

14 身体障がい者等支援事業

(1) 身体障がい者デイサービス事業

戸上デイサービスセンターを利用し実施し一人あたり週1回の利用です。

年 度	31	30	29
利用者数	1人	2人	2人
延べ利用回数	50回	89回	93回

(2) 緊急短期保護事業

居家で寝たきり高齢者等を介護している者が介護できない状態（冠婚葬祭、疾病、事故等）になった場合に、当該高齢者を一時的に戸倉短期入所事業所で保護しました。

年 度	31	30	29
利用者数	3人	6人	2人
延べ利用日	7日	17日	5日

(3) 貸切温泉風呂事業

千曲市戸倉地域福祉センターの個室浴室（温泉引湯）を、身体に障がいがあり、かつ自宅や一般温泉施設等での入浴が困難な方に貸し出し温泉入浴を提供しました。

年 度	31	30	29
利用者数	8人	16人	5人
延べ利用回数	21回	47回	68回

《評価と課題》

- 身体障がい者デイサービス事業の利用者数・延べ利用回数は、前年度より減少となりました。ホームページ、社協だより等を通じ市民への情報発信に努め、利用向上を図ります。

15 貸出事業

(1) 車いす貸出し事業

高齢者、障がい者に対する一時的(短期間)な車いすを貸出しました。(回)

年 度	31	30	29
貸出回数	124	112	161

(2) 移送自動車（福祉車両）の貸出

高齢者、障がい者に対し、通院等の外出支援のため、車いすまたは寝台（ストレッチャー付）のまま乗降可能な福祉車両を貸出しました。

■登録者数と福祉車両延べ貸出回数の推移

年 度		31	30	29
登録者数		93人	90人	99人
福祉 車両	車いす乗降車両(軽)	461回	533回	446回
	寝台(ストレッチャー付)車両	57回	68回	82回
計		518回	601回	528回

《評価と課題》

- 令和元年東日本台風（台風第19号）により車いす乗降車両1台が浸水被害を受け廃車となり、利用者にご不便・ご迷惑をお掛けしました。そのため、貸出回数が前年度より減少しました。引き続き、市民への情報発信に努めます。

16 実習生等の受入れ

(人)

学校名	人数	実習受入れ先
長野社会福祉専門学校	1	ヘルパーステーション
信州スポーツ医療福祉専門学校	2	ヘルパーステーション、稲荷山デｲｰﾋﾞｽﾞﾝﾀｰ
小中学校教員免許志願者に対する介護体験受入	4	更埴デｲｰﾋﾞｽﾞﾝﾀｰ、稲荷山デｲｰﾋﾞｽﾞﾝﾀｰ
計	7	(前年度 13人)

17 会議等

(1) 介護保険事業所長会議

毎月、介護保険事業所運営の適正かつ効果的な執行を図るため、所長会議を開催し、介護保険事業所の経営状況を把握しながら経営戦略等について協議しました。また、必要に応じデイサービスセンター所長会議を開催しました。(年2回実施)

(2) 感染対策検討委員会

胃腸炎や新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図るため、検討委員会を開催しました。(年2回実施)

18 チューリップの家事業

(1) 事業の目的

障害者総合支援法に基づき、一般企業での就労が困難な障がい者を対象に、働く場を提供するとともに、一般就労等に向けた知識・能力の向上に必要な支援・訓練を行いました。

(2) 利用者状況 (就労継続支援B型 定員 20人)

①利用者の状況 (人)

登録利用者	31	30	29
男	9	10	9
女	9	9	8
合計	18	19	17

新規登録者 男性 1人 女性 2人 合計 3人
退所者 男性 2人 女性 2人 合計 4人

②年齢別登録人数 (人)

年齢	男	女	計
～19			0
20～29	1	2	3
30～39	1	1	2
40～49	3	4	7
50～59	2	2	4
60～69	2		2
70歳以上	0	0	0
合計	9	9	18

③開館日数と利用者状況

項目	31	30	29
開所日数	261日	266日	267日
登録人数	18人	19人	17人
利用延人数	3,632人	3,693人	3,282人
1日平均利用者数	13.9人	13.9人	12.3人

(3) 作業訓練

①喫茶営業 (毎週水・木曜日に営業)

年度 項目	31	30	29
営業日数	107日	108日	107日
来客者数	2,830人	2,798人	2,934人
1日平均人数	26.4人	25.9人	27.4人

②出張喫茶 (各団体等からの依頼による会議等への出張)

年度 項目	31	30	29
出張回数	11回	19回	13回
来客人数	273人	454人	321人
1回平均人数	24.8人	23.8人	24.6人

③臨時営業

年度 項目	31	30	29
営業回数	8回	6回	7回
来客数	189人	128人	163人

④菓子製造・販売 (毎週火～金曜日販売)

年度 項目	31	30	29
営業日数	189日	176日	192日
来客者数	688人	703人	869人
1日平均人数	3.6人	4.0人	4.5人

⑤イベント出店 (市内の催し、文化祭等に出店) (回)

年度 項目	31	30	29
営業回数	24	34	29

⑥委託販売

手作り製品・菓子等の委託は販売 (市・旅館等)

⑦その他

アルミ缶の回収・小物制作

(4) 就労事業による収入と利用者支援の実績

①就労事業による収入

(単位：千円)

年度 項目	31	30	29
売り上げ額	8,131	8,024	7,987

②工賃の支払い

(単位：円)

年度 項目	31	30	29
工賃総額	3,965,300	4,216,700	3,890,700
月ひとり当たり平均工賃	17,468	19,254	20,055
時給換算	289	302	306

(5) 生活・社会訓練

日常の清掃、各作業をはじめ畑、花壇の手入れ、環境整備作業に取り組み、外出や、研修会への参加、受け入れ、実習等に取り組みました。

(6) ボランティア・交流

精神保健ボランティア「ルーラル」会員や埴生中学校と定期的交流を行っています。

(7) 広報・啓発

「社協だより・ホームページ・フェイスブックへの掲載」をはじめ、「チューリップの家だより」の発行

菓子工房や喫茶の紹介パンフレットの配布、チューリップ祭り、創業祭の開催。

(8) 就労支援

ハローワークをはじめ関係機関と連携し研修や就労先の情報提供を実施。

一般就労に向けハローワークに相談1人、長野圏域就業・生活支援センターに3人が登録し、就労実習2人、就労（障害者枠）2人の就労が決定しました。

指定管理受託経営施設一覧表

◎高齢福祉関係

名 称	住 所
八幡老人福祉センター	千曲市大字八幡 3311
戸倉老人コミュニティセンター（戸倉児童館併設）	〃 戸倉 1972 - 2
更級老人コミュニティセンター（更級児童館併設）	〃 羽尾 1812
五加老人コミュニティセンター（五加児童館併設）	〃 千本柳 328
戸倉地域福祉センター	〃 磯部 1110-1
更埴デイサービスセンター	〃 杭瀬下 870
稲荷山デイサービスセンター	〃 稲荷山 2130

◎児童福祉関係

名 称	住 所
埴生児童センター	千曲市大字鑄物師屋 108-1
稲荷山児童センター	〃 桑原 1826-1
屋代児童センター	〃 屋代 2226-4
八幡児童センター	〃 八幡 3094-5
東部児童センター	〃 生萱 120
戸倉児童館	〃 戸倉 1972 - 2
更級児童館	〃 羽尾 1812
五加児童館	〃 千本柳 328
上山田児童館	千曲市上山田温泉四丁目 29 番地 1

◎障がい福祉関係

名 称	住 所
地域活動支援センター千曲市ピュアハートちくま	千曲市上山田温泉四丁目 5 番地 1

顧問・理事・監事・評議員名簿

令和2年3月31日現在

職名	氏名	所属団体
顧問	内田 雅啓	千曲市副市長
〃	高見澤 武次	前社協会長
会長	島谷 正行	識見を有する者
副会長	風間 美恵子	〃
理事	渡邊 和巳	区長会連合会 会長
〃	福島 幸久	〃 副会長
〃	西澤 猪一郎	〃 副会長
〃	濱田 政常	民生児童委員協議会々長
〃	宮原 英夫	社会福祉協議会支部長会々長
〃	多田 隆	福祉施設の管理者（稲荷山太陽の園施設長）
〃	荒川 愛子	千曲市健康福祉部長
常務理事	島谷 守	社協事務局長
監事	高松 久男	社会福祉事業並びに財務管理に
〃	赤沼 義敏	ついて識見を有する者

職名	氏名	所属団体
評議員	前田 きみ子	千曲市議会
〃	岩佐 正幸	区長会
〃	宮坂 静	
〃	竹内 正博	
〃	宮澤 淳治	
〃	兒玉 敏之	
〃	小平 宗孝	
〃	若林 光男	
〃	春日 和子	
〃	山崎 文清	
〃	青木 俊夫	ボランティア団体
〃	柳澤 富子	
〃	栗原 達	商工団体
〃	笠井 雪子	女性団体（男女共同参画推進連絡協議会）
〃	北川原 ちか子	赤十字奉仕団
〃	湯本 康幸	身体障がい者福祉協会
〃	若林 今朝長	福祉施設
〃	北村 章	行政関係
〃	小野 智弘	

職員体制

◎職種・雇用形態別職員人数 (R2. 3. 31 現在)

雇用形態	事務局関係	介護保険関係	児童館	障がい関係	合計	比率
正規	16 人	16 人	0 人	3 人	35 人	21.1%
嘱託	6 人	15 人	14 人	2 人	37 人	22.3%
臨時	1 人	23 人	9 人	4 人	37 人	22.3%
パート	2 人	23 人	6 人	3 人	34 人	20.5%
再雇用	1 人	12 人	9 人	1 人	23 人	13.8%
合計	26 人	89 人	38 人	13 人	166 人	100%

◎人員配置 (R2. 3. 31 現在)

(人)

課 名		係 名	31年度	
			正規	非正規
事務局 関係	総務課	総務係	3	3
		庶務会計係	1	2
	相談支援課	相談支援係	3	2
		まいさぼ千曲	2	1
	地域福祉課 (ボランティア・市民活動交流センター)	地域福祉係	4	2
		児童高齢者福祉課	児童高齢者福祉係	1
		介護サービス係	2	0
	児童館 (センター)	9 館	0	35
介護 保険 事業 所	戸倉上山田地域包括支援センター		3	4
	居宅介護支援事業所	更埴	1	7
		戸上	2	4
	ヘルパーステーション		2	9
	デイサービスセンター	更埴	0	0
		稲荷山	3	13
		戸上	3	18
認知サービスセンター・短期入所事業所		1	16	
訪問入浴		1	5	
障害 関係	チューリップの家		3	6
	ピュアハートちくま		0	3
合計			35	131

※総務課に事務局長含む、兼務職員は主たる事業所に含む

